

復興後の新しい ステージに向けて

南三陸町長 佐藤 仁



新しい年の始まりにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。町民皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年を改めて振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が法律上の5類感染症に位置づけられて以降、志津川湾夏祭りや産業フェアをはじめとした多くの行事・イベントが制限なく開催され、更に、観光客入込数についてもコロナ禍前の水準にまで回復するなど、まちづくりに欠かせない賑わいが戻ってきた一年でありました。また、町民皆さまの交流・憩いの場として整備を進めておりました「ハマレ広場」および「うみべの広場」がそれぞれオープンし、子どもからお年寄りまで幅広い世代の皆さまにご利用いただき、現在では、

新たな賑わいと交流を創出する場所にもなっています。志津川湾がラムサール条約湿地登録から5年目を迎えた中、これまで取り組んできた海や環境に配慮した各種活動が評価され、サンオーレそではま海水浴場が国際環境認証であるブルーフラッグ認証を取得することができ、改めて、本町の豊かな自然環境を守り、次世代に繋げていくことの大切さを実感した一年でもありました。一方で、不安定な世界情勢に起因した原油価格・物価の高騰が長期化し、地域経済、そして私たちの日常生活にも大きな影響を与えました。本町では、この困難な状況乗り越えるため、町民皆さまの経済的負担の軽減や事業者の経営安定に資する支援事業を実施しました。今後におきましても、社会経済の状況などを

的確に捉え、地域の実情に応じたきめ細やかな施策を展開してまいります。本年は、現在策定中の「南三陸町第3次総合計画」による復興後の新たなまちづくりがスタートする年となります。めまぐるしく変化が進む社会動向や時代の要請に対しても、しっかりと対応しながら、復興後の新たなステージを町民皆さまとともに力強く歩んでいきたいと考えております。また、本町の魅力ある産業のさらなる振興と地域経済の好循環に向けた取り組みを展開しながら、町民皆さまとの協働による持続可能なまちづくりを進めてまいります。結びに、本年が町民皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のあいさつとします。

信頼される議会であ るために

南三陸町議会議員 星 喜美男



新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。日頃より町議会の活動に対して、深いご理解と格別なご協力をいただき厚く御礼申し上げます。昨年は、議会活性化特別委員会として志津川と歌津の両漁業協同組合支所の代表の方々と、アルプス処理水の海洋放出に伴う風評被害等への懸念など、町の水産業の現状と課題について意見を交わしました。常任委員会では、高校魅力化や移住・定住施策について、現状の課題と対応方策、今後強化していかねばならない取り組みなどについて調査を行ったほか、自然災害に対する防災

対策として、町の消防防災の現状や消防防災施設の整備状況、豪雨災害などに対する防災対策について、土砂災害計画区域等の増加に対する対応状況や課題などの調査を実施しました。これらの委員会内で調査を行い、顕在化した課題については、議会として国や県に対し、対応の働きかけを行ったほか、議員各自が一般質問や議案審議などで質疑を行うなど、課題解決に努めてまいりました。議会改革の取り組みとしては、議会がその使命を果たすために必要な基本的事項を定めた「南三陸町議会基本条例」に則した議会運営が実現できているかどうかの検証を行い、さらに町民福祉の向上と町政の発展

る委員間討議の取り組みもはじめたところです。当町議会としましては、議会や町政に対する町民皆さまのご意見を受け止めながら、その具現化に努めますとともに、町民のための議会として、町の発展と安心・安全、そして、心豊かに暮らせる南三陸町の実現に向け、町並びに町民皆さまと力を合わせてまいります。本年も町議会に對しまして、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が町民の皆さまにとって希望に満ちた笑顔あふれる1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のあいさつとします。



命への感謝を忘れずに

11月14日(火)、ファッションブランド「サマンサタバサ」とNPO法人さとうみファーム、南三陸町の三者による「南三陸わかめ羊プロジェクト」のメディア発表会が開かれました。このプロジェクトは、これまで廃棄されていた羊の皮を活用したポーチやバッグを製作、発売するもので、サマンサタバサジャパンリミテッドによる復興支援の一環で実施されます。

この「わかめ羊」は、飼料にワカメの茎を混ぜることにより、羊特有の癖が少ないのが特徴で、その羊革の商品は肌触りが良く、軽くて丈夫な革になるそうです。

町内小中学校では、このプロジェクトをテーマにした授業も予定されており、佐藤町長は「子どもたちに命の大切さを知ってもらふ機会の一つになってほしい。命に感謝し、最後まで無駄なく使い切ることで、命の教育となれば嬉しい」と話しました。



プロのプレーを間近で体験!

11月20日(月)、ベガルタ仙台の鎌田大夢選手が志津川保育所を訪れました。

今回の訪問は、ベガルタ仙台で実施している地域連携やスポーツ振興などを目的としたホームタウン活動の一環で、志津川保育所の子どもたち17名とパス交換やミニゲームを行いました。

質問コーナーでは、「どうやったらシュートが上手くなりますか?」や「サッカー選手になるにはどうしたらいいですか?」といった質問が挙がり、鎌田選手は一人一人の質問に対して丁寧に答えていました。

最後は、鎌田選手が一人一人にその場でサインしたシールを配り、全員で記念写真を撮りました。もらった子どもたちは笑みを浮かべ、「プロの選手のシュートを見て嬉しかった」、「ベガルタ仙台の試合を見に行きたい」と話していました。



目標は「全国制覇」

11月21日(火)、「気仙沼・本吉選抜KM☆stars」選抜に選出された南三陸野球クラブ所属の菅野滉太さん、山内陽汰さん、千葉椋喜さん、芳賀楓馬さん、阿部輝里丸さんの5名が来庁しました。

この5名は、11月5日(日)に岩手県一関市で開催された【第7回CBS少年軟式野球「6年生選抜大会」東北ブロック大会】において見事初優勝を果たし、1月6日(土)～8日(月・祝)に千葉県で開催される全国大会へ出場します。

陽汰さんは「簡単には行けない全国大会なので、全力で頑張ってきてたいです」と話してくれました。「勝利のためにベストを尽くせ!」を合言葉に、全国制覇を目指して練習に励みます。



気仙沼・本吉の代表として1試合でも多く勝てるよう、全力で頑張ってきてたいです。勝利のためにベストを尽くせ!を合言葉に、全国制覇を目指して練習に励みます。